



～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

能楽ってすごい

9月3日に、5・6年生対象にはんぎーホールで「子ども能楽教室」が行われます。それに先立ち、7月5日に、4～6年生を対象に、能楽師の方がお見えになり、能楽についていろいろお話をしてくださいました。

能楽は、室町時代から700年も受け継がれてきた日本の伝統芸能で、狂言と違い、シリアスな内容の話が多い、その多くに「亡霊」が登場し「お坊さん」と出会うなど、私も知らなかったことなど分かりやすく教えていただきました。

子供たちも興味深くお話を耳を傾け、能楽に対して関心をもったようでした。

最後に、能楽師の方が、「高砂」をうたわれると、空気は一変し、圧倒されるその雰囲気、子供たちも瞬きせずに見守っていました。うたわれた後、「一緒に練習してみましょう」と、子供たちも「高砂」のさわりの部分を声に出してうたってみました。初めてにしてはしっかりと声を出しており、気分は能楽師です。

9月3日の「こども能楽教室」では、夏休み中に練習に参加した希望者が、実際に能舞台上で演じることができるそうです。神崎市からのチラシを配布しますので、貴重な体験ができるこの機会に、ぜひ多くの子に参加・挑戦してほしいと思っています。



ミニ図書館祭り

7月1日から「ミニ図書館祭り」を行っています。

「図書委員のお仕事一日体験」や「読書ビンゴ」など、楽しい催しもあり、いつも以上に図書館がにぎわっています。今年は、図書館にお勧めの本を紹介し合う「天の川」も登場しました。

1学期の貸し出しは7月8日（月）までですが、今後もたくさんのお本に出会ってほしいと思います。



地区懇談会お世話になりました

7月3～5日にかけて、地区懇談会が行われています。学校からも職員が参加させていただいています。職員から受ける報告では、どの地域でも、自分の子供がいる・いないに関わらず、地域で子供たちを見守る温かい雰囲気が伝わってきました、というものばかりです。中には、「(中学生に)部活、頑張りよっか～」と声をかけると「は～い」と手を振り笑顔で返してくれる子供や、散歩していると「どこまで歩くと～」と一緒に自転車を押しながら歩いてくれる子がいたなど、心温まるお話もしていただきました。

東部小の地域は、地域の方と子供たちとの距離がとても近く、とても温かいなと感じたところです。だから、子供たちも大人を信じ、安心して生活することができるなと感じました。

子どもは学校だけでは伸ばすことができません。今後も、家庭・地域・学校で温かく子供たちを見守り、育てていければと思います。

野球部の皆さんありがとうございました

7月4日夕方、運動場からエンジン音が響き渡りました。雨続きで、運動場の草の勢いにどうしようもなく思っていたところ、野球部の保護者の皆さんが、一斉に草刈りをしてくださいました。お仕事後のお疲れのところ、学校のためにお力を貸していただき、本当にありがとうございました。とても助かりました。

